



2026年4月20日

各位

会社名：株式会社 SDS ホールディングス
代表者名：代表取締役社長 渡辺 悠介
(コード番号：1711 東証スタンダード)
問い合わせ先：取締役管理本部長 田中 圭
(TEL. 03-6821-0004)

エスクリプトエナジー株式会社との業務提携契約締結に関するお知らせ
～デジタル資産およびAI データセンター分野における成長機会の創出～

当社は、2026年4月20日開催の取締役会において、以下のとおり、エスクリプトエナジー株式会社（東京都中央区銀座 8-9-13 代表取締役 久永賢剛 東証スタンダード市場：証券コード 5721 以下、「エスクリプトエナジー」といいます。）との間で、デジタル資産（以下、「暗号資産」といいます。）分野およびAI データセンター関連分野に関する業務提携契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。

本業務提携は、両社が有する知見および情報ネットワークを相互に活用し、新たな事業機会の創出ならびに将来的な事業化の可能性について検討を行うことを目的とするものであります。

なお、本業務提携は、資本提携を伴うものではなく、現時点において具体的な事業化、投資の実行または暗号資産の取得等を決定するものではなく、今後、両社における検討・協議の進捗状況を踏まえ、必要に応じて個別に判断してまいります。

記



1. 業務提携の理由

当社は、既存事業の強化に加え、新たな成長分野への取り組みとして、AI データセンター事業の事業化を進めております。また、2026年4月20日付「第三者割当による第10回新株予約権（行使価額修正選択権付）の発行に関するお知らせ」で開示したとおり、第三者割当増資により調達する資金の一部について、AI データセンター事業資金および暗号資産の取得を含む投資事業資金への充当を予定しております。

AI データセンター事業においては、モジュール型（コンテナ型）データセンターの開発・構築・運用を推進する方針であり、また暗号資産については、為替変動リスクへの対応等を目的として、ビットコインおよびイーサリアムの段階的な取得および保有を検討しております。

一方、エスクリプトエナジーは、暗号資産分野において知見および情報ネットワークを有しており、同社が公表している中期事業計画においては、BTC トレジャリー事業を含む暗号資産分野およびAI データセンター事業を、中長期的な成長エンジンとして位置付け、検討を進めております。

このような背景のもと、両社は、それぞれが有する知見および経営資源を相互に活用し、

暗号資産の取得・運用体制の高度化ならびに AI データセンター事業に関する事業検討を進めることを目的として、本業務提携契約を締結することといたしました。

2. 業務提携の内容等

(1) 暗号資産分野に関する連携

i. 暗号資産の取得・運用体制に関する助言

エスクリプトエナジーは、当社に対し、暗号資産（主としてビットコイン等）に関し、以下の事項について助言および支援を行います。

① 取得方針および取得方法（分散取得等）に関する助言



- ② 保有・管理体制（カストディ、秘密鍵管理等）に関する助言
- ③ 会計処理および開示対応に関する整理に関する助言
- ④ 内部管理体制およびリスク管理方針の検討に関する助言

なお、本項に基づく助言は、当社の投資判断や運用判断の最終決定に関する意思決定を補助する目的に限定されるものであります。

ii. 暗号資産のリスク管理体制に関する協力

エスク립トエナジーおよび当社は、暗号資産の価格変動、流動性、制度変更等のリスクを踏まえ、当社における暗号資産の取得・保有・管理に係る体制整備に資する観点から、以下の事項について、必要に応じて情報共有および協議を行います。

- ① 運用ルールに関する助言
- ② モニタリング体制の整備に関する助言
- ③ カストディ業者についての情報提供

(2) AI データセンター事業に関する検討

i. 事業協業の基本的枠組み

当社は、エスク립トエナジーに対し、AI データセンターの構築および運用に関する以下の事項について助言を行います。

- ① AI データセンターの設計に関する助言
- ② 設備構築および運営・管理に関する助言
- ③ 電源、空調、IT インフラ等の統合的運用に関する助言
- ④ 事業モデルおよびコスト構造についての情報提供

(3) 共同検討事項

当社およびエスク립トエナジーは、以下の事項について、段階的に共同検討を行います。

- ① AI データセンターの規模および仕様
- ② 電力調達方法（再生可能エネルギー等を含む）
- ③ 運営体制およびコスト構造

本業務提携は、当社が推進する AI データセンター事業における資金決済プロセスに対応するため、必要となる暗号資産の取得および管理に関する知見・ノウハウを補完することを当社の主たる目的とするものです。

当該 AI データセンター事業においては、ステーブルコインによる収益受領および日本円への換金に際し、暗号資産を経由することが実務上前提となるため、適切な取引所の選定、流動性の確保、管理体制の整備等について一定の専門性が求められます。当社としては、これらの機能を外部に単純に委託するのではなく、事業運営と一体として適切に管理・運用していく必要があると判断し、当該分野において知見を有するエスク립トエナジーとの業務提携を通じて、実務対応力の強化および事業基盤の整備を図るものであります。

なお、エスク립トエナジーが推進する AI データセンター事業の当社側で支援するための具体的な契約条件、収益配分等については、個別案件ごとに当社とエスク립トエナジーで協議のうえ決定いたします。

3. 業務提携の相手先の概要

(1) 名称	エスク립トエナジー株式会社
(2) 所在地	東京都中央区銀座八丁目9番13号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 久永 賢剛
(4) 事業内容	クリプトアセット事業、金属事業、不動産事業
(5) 資本金	2,269百万円 (2025年12月31日現在)
(6) 設立年月日	1946年4月
(7) 大株主及び持株比率	KAY LEO BROTHERS LIMITED 2.77% 株式会社SBI証券 2.26% 品田 守敏 1.48% 野村証券株式会社 1.26% BNYM SA/NV FOR BNYM FOR BNY GCM CLIENT ACCOUNTS M LSCB RD



	(常任代理人 株式会社三菱 UFJ 銀行 0.91% 野村證券株式会社 (常任代理人 株式会社三井住友銀行) 0.68% SOCIETE GENERALE INTERNATIONAL LIMITED CLIENT OMNIBUS (常任代理人 ソシエテ・ジェネラル証券株式会社) 0.57% 楽天証券株式会社 0.53% 瀬賀 雅弥 0.48% (2025年9月30日現在)
--	--

(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はありません。なお、エスクリプトエナジー株式会社の第10回新株予約権(行使価額修正選択権付)の割当予定先であります。詳細については、2026年4月14日付「第三者割当による第10回新株予約権(行使価額修正選択権付)の発行に関するお知らせ」を参照ください。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	該当事項はありません。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

(9) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態

決算期	2023年3期	2024年3期	2025年3期
純資産	2,624百万円	2,967百万円	2,871百万円
総資産	2,777百万円	3,122百万円	3,006百万円
1株当たり純資産	18.53円	20.96円	20.28円
売上高	806百万円	718百万円	634百万円
営業利益	△130百万円	△311百万円	△292百万円
経常利益	△110百万円	243百万円	△295百万円
当期純利益	△119百万円	389百万円	△96百万円
1株当たり当期純利益	△0.85円	2.75円	△0.68円
1株当たり配当金	－円	－円	－円

(注) 2025年3月期より連結財務諸表を作成されておきませので、単体における経営成績及び財政状態を記載しております。

4. 今後の見通し

本業務提携による当社業績への影響は現時点で軽微と見込んでおりますが、今後、具体的な成果や数値的影響が見込まれる場合には、速やかに開示いたします。

(参考) 当期連結業績予想(2026年2月13日公表分)及び前期連結実績

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
当期連結業績予想 (2026年3月期)	5,035	120	10	△78
前期連結実績 (2025年3月期)	4,035	12	△97	△151

以上